

貪欲な耳と疲弊した耳のための非挑発的音楽フェスティバル

「サウンド・ライブ・トーキョー」

オバマ大統領の歴史的広島訪問の年、ジェームズ・テニー『Pika-Don』日本初演、

世界最高齢のジャズバンド初の東京公演など、13組出演・9日間のプログラム

会期：2016年9月11日（日）～10月1日（土）

会場：スーパー・デラックス（東京・六本木）

soundlivetokyo.com



報道関係者各位

PARC – 国際舞台芸術交流センター
プレスリリース（2016年6月21日）

サウンド・ライブ・トーキョー（以下SLT）は、「音」と「音楽」をテーマにジャンルを問わず国内外のアーティスト・作品を紹介するフェスティバルです。2012年から毎年開催、今年5回目を迎えます。これまで音／音楽を手がかりに、ニューヨーク最重要の前衛劇団**ウスター・グループ**の初来日公演（2015年）など、世界の本格的な演劇／映画／アートフェスティバルに匹敵する企画を実現してきました。また、昨年他界した**菊地雅章**氏による2012年のソロ・コンサートの録音が『黒いオルフェ～東京ソロ2012』としてドイツの名門レーベルECMから今年発売され、ニューヨーク・タイムズをはじめとする各国メディアで絶賛されるなど、「音楽フェスティバル」としての質の高さでも注目を集めています。

現職合衆国大統領初の広島訪問が実現した今年のプログラムは、ニューメキシコ州の核実験場近くで幼少期を過ごした合衆国の作曲家、**ジェームズ・テニー**による4チャンネルの「証言」と4人の打楽器奏者のための作品『**ピカ＝ドン**』の日本初演で、9月11日に幕を開けます。ドイツを中心とした異色のアンサンブル「**ツァイトクラッツァー**」は、**灰野敬二**とのコラボレーションによる**カールハイツ・シュトックハウゼン**の「直観音楽」をはじめとする3日公演で初来日。さらに、ソ連崩壊5年前にカザフ・ソビエト社会主義共和国で生まれたヴァイオリニスト、**アイシャ・オラズバエヴァ**による**ルイジ・ノーノ**晩年の作品の演奏など、「現代音楽」の新しい実践を示し今日的意義を問うプログラムとなっています。

マイケル・スノウ（当時85歳）、ケン・ジェイコブス（当時82歳）など高齢のアーティストの若々しく自由な表現を紹介してきたSLTですが、今年はとうとう世界最高齢のバンドとしてギネスブックに登録されている関西拠点のジャズバンド「**ゴールデン・シニア・トリオ**」（現在90歳、82歳、79歳）が登場、初の東京公演となります。また、昨年85歳で他界したオーネット・コールマンの理論「ハーモロディクス」のユーラシア的展開を目指す**Soon Kim**が和太鼓を取り入れて結成した新しいトリオ「**Old School**」、世界的に評価を高めている集団即興プロジェクト「**マージナル・コンサート**」と、ジャズ／即興音楽の文脈でもユニークな演目が並びます。

モントリオールを拠点とする劇作家／演出家**ジェイコブ・レン**は、アマチュアのシンガー・ソングライターとして作曲した知られざる58曲を「共有する」プロジェクトで登場。レンが最も敬愛するミュージシャン2人（**モーマス**、**工藤礼子**）のほか、強力なゲスト陣を迎えます。『ピカ＝ドン』と同日に上演する**テリー・テムリッツ**『**愛の爆弾**』は、メインストリームの音楽に充満するイデオロギー装置としての「愛」と暴力の諸形態をめぐる映像作品／パフォーマンス。2003年の発表以来、その先見性を示し続けている作品です。

新しい発見を意欲的に求める方にも、蔓延する大量の音楽と音声情報に疲れた方にも、コンセプチュアルで高水準なコンサート／パフォーマンスをドリンク付き2,500円でお楽しみいただける9日間。会場は国内外の実験音楽シーンを刺激し続けてきた六本木**スーパー・デラックス**。開催概要、スケジュール、曲目一覧については次頁をご覧ください。総勢13組・35名以上の出演者プロフィール、写真、画像、英語情報、その他詳細については下記までお問い合わせください。

このプレスリリースに関するお問い合わせ

広報担当：雨宮士郎（あめみや・しろう） | PARC – 国際舞台芸術交流センター | 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-1-2-3F
Tel 03-5724-4660（平日11:00～18:30） | Fax 03-5724-4661 | amemiya@parc-jc.org

開催概要

名称：サウンド・ライブ・トーキョー／Sound Live Tokyo
会期：2016年9月11日（日）～ 10月1日（土）
会場：スーパー・デラックス（東京都港区西麻布3-1-25 B1F）
主催：PARC – 国際舞台芸術交流センター
平成28年度文化庁国際芸術交流支援事業
助成：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
ドイツ連邦共和国外務省
協力：東京ドイツ文化センター
soundlivetokyo.com

料金：各日前売、当日とも2,500円（1ドリンクつき）
前売：Peatix (peatix.com/group/24201) にて7月1日（金）発売
*9月17日（土）は投げ銭制（1ドリンクご注文下さい）
お問い合わせ（一般）
PARC – 国際舞台芸術交流センター
Tel 03-5724-4660
soundlivetokyo.com/contact
ディレクター：新井知行（PARC – 国際舞台芸術交流センター）

プログラム

9月11日（日）18:30開場 / 19:00開演

ピカ＝ドン（ジェームズ・テニー作曲、1991）

演奏：神田佳子、佐々木啓恵、稲野珠緒、服部恵（以上打楽器）、
有馬純寿（エレクトロニクス）

機械仕掛けの神（同、1982）

演奏：神田佳子（打楽器）、有馬純寿（エレクトロニクス）

愛の爆弾

出演：テーリ・テムリッツ（上映・パフォーマンス）

9月17日（土）15:30開場 / 16:00開演

私がこれまでに書いたすべての歌：ソロ

出演：ジェイコブ・レン

9月18日（日）18:00開場 / 18:30開演

私がこれまでに書いたすべての歌：バンド・ナイト

出演：モーマス

工藤礼子

マヘル・シャラル・ハシュ・バズ

他1組（後日発表）

ジェイコブ・レン

9月21日（水）19:00開場 / 19:30開演

マージナル・コンソート

今井和雄、越川 T、椎啓、多田正美

9月22日（木・祝）18:30開場 / 19:00開演

ゴールデン・シニア・トリオ

鍋島直昶（ヴィブラフォン）、大塚善章（ピアノ）、宮本直介（ベース）

Old School

Soon Kim（サクソ）、菅太郎（和太鼓）、井野信義（ベース）

9月27日（火）19:30開場 / 20:00開演

七つの日より（カールハイント・シュトックハウゼン作曲、1968）

演奏：ツァイトクラッツァー、灰野敬二

9月29日（木）19:30開場 / 20:00開演

パーカッションのために一音も書いたことがなく

（ジェームズ・テニー作曲 [以下同]、1971）

スウェル・ピース 第3番（1971）

臨界帯域（1988/2000）

ハルモニウム 第1番（1976）

たぶんパーカッションのための、あるいは....（夜）（1971）

演奏：ツァイトクラッツァー

9月30日（金）19:30開場 / 20:00開演

スーパーボーナス（テーリ・テムリッツ作曲 [以下同]、1999）

500年間の軌道（1997）

42丁目のべとべと2連チャン（1998）

上作延村立（2006）

タートルネック（1997）

浮浪者（2006）

演奏：ツァイトクラッツァー、テーリ・テムリッツ

10月1日（土）18:30開場 / 19:00開演

6つの幻想曲（ゲオルク・フィリップ・テレマン作曲、1735）

演奏：アイシャ・オラズバエヴァ（ヴァイオリン）

夢みながら“歩かねばならない”（ルイジ・ノーノ作曲、1989）

演奏：アイシャ・オラズバエヴァ（ヴァイオリン）、

エロイザ＝フルール・トム（ヴァイオリン）

未来のノスタルジック的ユートピアの遠方（同、1988）

演奏：アイシャ・オラズバエヴァ（ヴァイオリン）、

ペイマン・コスラヴィ（エレクトロニクス）